

実施日：令和3年6月10日（木） コマ：2

事業名：円滑な出入国の環境整備（国際観光旅客税財源）

とりまとめ結果：事業内容の一部改善

廃止0名	事業全体の抜本的な改善0名	事業内容の一部改善4名	現状通り2名
------	---------------	-------------	--------

【とりまとめコメント】

- 調達課題として認識されたが、調達の競争性確保の仕組みだけでなく公正性確保の工夫が必要。
- 税関・検疫手続に関しても待ち時間短縮が図れるよう取り組み、入国手続全体で待ち時間が短縮されるよう取り組むべき。
- 日常の運用保守も含めて総合的に検証することにより、コストの適正性を担保すべき。

【外部有識者の主なコメント】

- ・ 1者応札の契約や落札率の高い契約が多いため、なるべく入札できる分野を分けるなどして工夫すべき。
- ・ 1者調達を前提とした調達の公正性を確保する態勢の構築が必要。無理に競争入札にこだわるのではなく、契約方式を含め、当該一社の提示する価格の公正さ、適正性をきちんと検証することに注力すべき。
- ・ 適正コストかどうかに関しては、日常の運用保守も含めて総合的に検証することが必要。
- ・ 税関手続に関しても待ち時間短縮が図れるよう取り組み、入国手続全体で待ち時間が短縮されるよう取り組むべき。
- ・ 将来のパスポート等のデジタル化やAI等の活用により、より迅速に入国手続をできないか。